

Inclusive Research

インクルーシブ・リサーチ

サガジ3over.

2021



MISSION: とともに学ぶ大学をさがせ!

もくじ

はじめに……3

登場人物の紹介……4

物語のあらすじ……6

第1話 インクルーシブ・リサーチってなんだろう? ……7

第2話 知的障害者が通える大学がある? ……8

第3話 やりたいことをやる!学びの場 i-LDK ……10

第4話 もっとなかよくなりたいたい! ……12

第5話 わかったことを伝えたい ……14

第6話 学ぶ楽しみが見つかる!神戸大学 ……16

第7話 障害者の声を発信!パンジーメディア ……18

第8話 とともに学ぶといいことあるよ ……20

おわりに……22



はじめに

◆大学で知的障害のある人たちの生涯学習に取り組むのならば、まずは知的障害のある本人に話を聞かなければならないだろう。そう思ったことが、現在やっているインクルーシブ・リサーチという活動の原点でした。そのように考えたのは、障害者権利条約策定の過程で当事者の思いとして語られた「**Nothing about us without us (私たちのことを私たち抜きで決めないで)**」という言葉が強く私の頭の中にあったからです。

◆本人を置き去りにすることなく、当事者とともに活動を行う方法を模索していた時、インクルーシブ・リサーチという調査の手法があることを教えてもらいました。私たちがやりたいと思っていた活動にピッタリの方法でした。そこで、この調査手法を使うこと、活動の名前も手法と同じ「インクルーシブ・リサーチ」とすることにしました。

◆私も含めこの活動に参加したメンバーは、これまで経験したことのない初めての活動に最初は戸惑ってばかりでした。しかし、右往左往しながらも、勤労青年と大学生のメンバーたちは、研究テーマに真摯に向かい合い、メンバー相互に影響を及ぼしながら研究活動を進め、素晴らしい成果を導き出してくれました。この冊子は、その1年間の活動の記録であり、成果を物語風にお伝えするものです。

◆さあ、次のページからいよいよインクルーシブ・リサーチの物語が始まります。私たちと一緒に、ともに学ぶ大学を探す旅に出かけましょう。

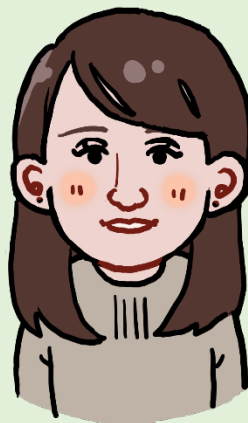


登場人物の紹介



IWAニヤン

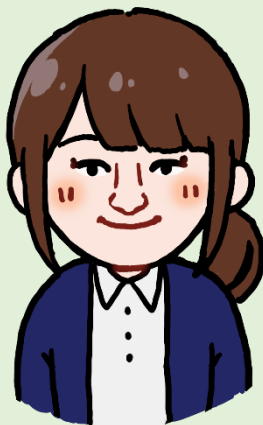
明るく元気な社会人。ダジャレで場を盛り上げるムードメーカー。毎回、一番早く来て準備を手伝ってくれる気配りの人。



はるぽん

のんびり屋の大学生。IWAニヤンのダジャレが大好きでいつもあたたかくほほえんでいる。どんな時も和やかな空気をかもし出す。

しっかり者の大学生。アーチェリーできたえた精神力でみんなをひっぱる。恥ずかしがり屋と本人は言うが、誰も信じていない。



ちはやちゃん

クールな見た目と裏腹に熱い心を持った社会人。鋭い意見にみんなが一目置く存在。運動好きのスポーツマン。



こんちゃん



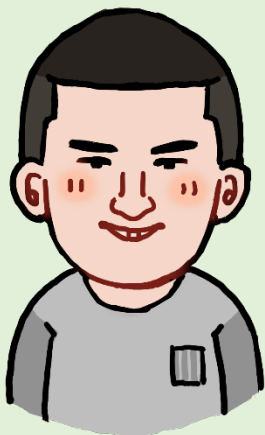
のえちゃん

どんな時も自分らしさを失わない大学生。マイペースな姿に笑いの神が宿るが、本人は気づかない。縁の下の力持ち。



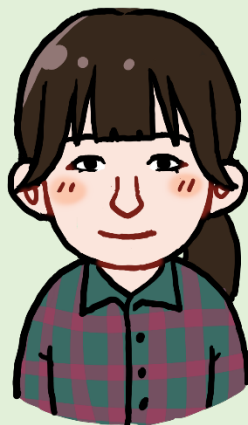
ちからくん

独特な言葉のセンスが光る社会人。ゲームとお菓子が好き。離れていても、みんなのことを思っている愛情深い人。



身体も心も大きな社会人。シンプルな発言はいつも本質をついている。心配ごとでも明るく笑い飛ばしてくれる。

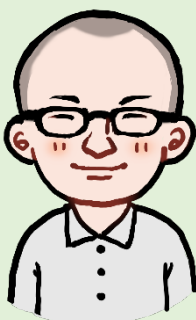
かつこちゃん



仲間おもいの大学生。正義感が強く、おかしいと思ったことはズバッと切り込む。段取り力に定評がある。グループのご意見番。

わかなちゃん

発達障害者支援センターで働く公務員。頼れる上司としちゃんと一緒にインクルーシブ・プログラムを表からも裏からも支えてくれた。



大学教員。地域福祉の専門家だが、よくわからないまま巻き込まれた。戸惑いつつも常にユーモアを忘れない。

まつきち



たろさん&としちゃん

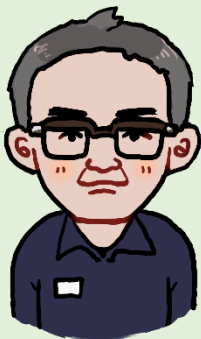
大学教員。障害者福祉の専門家でお世話係兼給食係。インクルーシブ・リサーチの言い出しっぺ。



はるぴん

★レアキャラ★

青年たちの母校、特別支援学校のもと先生。アドバイザーとして見守り、助言をしてくれる。アツい。



ゴリさん

大学教員。発達障害の専門家だが、リサーチでは敏腕カメラマンとして活躍。プログラムの責任者。



にっこ

某テレビ局のディレクター。インタビューの特別講師として関わる。



にっしー

物語のあらすじ

◆ 2021年、相模原市と相模女子大学が協働し、知的障害や発達障害のある若者が高校卒業後も学びつづけるための支援に関する研究事業「インクルーシブ・プログラム」をスタートさせました。

◆ リサーチ、セミナー、ゼミの3つから成るインクルーシブ・プログラムの中から、リサーチを担当するメンバーが相模女子大学の一室に集められました。

◆ メンバーは勤労青年4名、サガジョ生4名。そして大学教員、相模原市職員。初対面のメンバーが多く、みな緊張した様子で周りを観察しています。

◆ 1年をかけて取り組む調査の内容が示されました。壮大な計画に、戸惑いの表情が隠せないメンバーたち。

6/19 (土) 13:00~17:00	ミーティング	自己紹介、プログラム、活動に関する説明
7/24 (土) 10:00~17:00	ミーティング	生涯学習・視察先についての情報提供、視察の準備
8/22 (日) 12:00~17:30	視察 (オンライン)	NPO法人障がい児・者の学びを保障する会(i-LDK)の視察「くらしのちぐはぐ研究室」見学と交流
9/5 (日) 10:00~12:30	ミーティング (オンライン)	知的障害者幡ヶ谷教室(GAYA)見学中止 ミーティングに変更。メンバー間の交流
10/9 (土) 9:00~16:30	ミーティング	活動の振り返り、中間まとめの発表、視察準備
11/9 (火) ~11/11 (木)	視察	神戸大学、パンジーマディアの見学と交流。
12/12 (土) 10:00~17:00	ミーティング	視察の振り返り、成果報告会の発表内容検討
1/8 (土) 9:00~16:00	ミーティング	成果報告会の発表内容の健闘
2/5 (土) 13:00~17:00	ミーティング	成果報告会のリハーサル
2/12 (土) 9:00~16:30	成果報告会	2つの報告会で研究成果の発表、振り返り

◆そして、いよいよミッションが告げられようとしています…

用語の説明

★勤労青年...インクルーシブ・プログラムに参加している知的障害、発達障害のある若者たちのこと

★サガジョ...相模女子大学の略称。神奈川県相模原市にある女子大学。緑が多くのどかなキャンパスが自慢。

★さがっばジョー...相模女子大学の学園キャラクターでかっぱに似ている妖精。ちょいちょい出てくる。

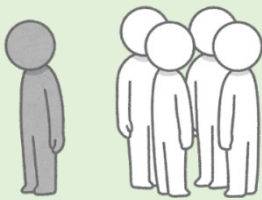
第1話 インクルーシブリサーチってなんだろう？



みなさん、今日は集まってくれてありがとう♡
今日は、これから始まるインクルーシブ・リサーチについて説明するね。

インクルーシブ・リサーチとは、当事者と一緒に、当事者の問題意識に基づいて行う調査の方法のこと！
これまで、障害のある人はいつも調査されるばかりだったよね。
だけど、インクルーシブ・リサーチでは、障害のある人が調べたいことについていっしょに考えて、いっしょに調査をするんだよ☆

よくある調査



~のために

インクルーシブ・リサーチ



~とともに

←つまり、こういうこと？

本人の**ために**と周りが勝手に決めたりしないで
本人**とともに**歩いていくってことね



でも、当事者ってだれのこと？



いい質問だね！

今回のテーマは「**障害のある人が学びたくなる大学ってどんな大学？**」。
そこで、障害のある人と大学に通う学生、どちらも当事者と考えているよ。
みんなが当事者なんだよ



...というわけで、
ボクらは一つのチーム🎵
みんな対等な関係だから
ニックネームでよびあおう！
みんな、なかよくしようね♡

第2話 知的障害者が通える大学がある？



大学っていっても、実際は、知的障害があると入れないよね😞
高校の勉強も仕事に関することが中心だったし。



まだ勉強もしたかったから、あと1年だけいられますか？って
先生に泣きついたりしたな〜🥺



そうなんですか！？ ...でもアメリカじゃ...ちょっと遠いってうか...



大学ではないけれど、**福祉サービスの制度**を使ったり、独自の取り組みを
して学ぶ場を作っているところもあるのよ。



いろんな学びの場をみんなで見に行けたらと思うんだけど、どうかな？！



みんな、安心して！強い味方呼んでるから！！



そうそう。大学なんて、自分には縁がないと思ってたよ。
高校卒業した後の選択肢なんて、就職のほかになかったし。



みんな、実はアメリカには知的障害者が通える大学があるんだよ！

知的障害のある人が他の大学生と同じようにキャンパスで過ごして、青春
を謳歌しているんだ！それが**障害者の権利**として保障されているんだ！！



日本でも、**神戸大学**のように、**知的障害者が通えるプログラム**を用意して
いる大学もあるよ。平日の夜に週3回、知的障害者が集まって、大学の先生
の講義を受けたり、学生と一緒に学んだり、色んな勉強をしているんだ。



行きたい！行きたいけれど、行くだけじゃないですよね？

そう！**調査**として行きましょう！
せっかくだから**インタビュー**もして、じっくりお話ききましょう〜🌟。



... (不安しかない)。

にっしーのインタビュー講座



はじめまして、講師のにっしーです☆よくないインタビューの例を見ながら、インタビューのコツを考えよう！

NG



一方的

NG



きいていない

相手の話を聞かなかったり、自分の興味のあることだけ一方的に質問するのは、よくないよね。



話したい気持ちが消えちゃうね。



そう、その通り！

こちらが聞きたいことを言わせようと思うとうまくいかないの。
インタビューはコミュニケーションということを中心に刻もう！



★インタビューの極意★

インタビューはコミュニケーション！
主役は、インタビューされる人

これで調査も
こわくない♪



この活動では、次の4か所に視察調査に行く予定だよ。

- ① **i-LDK (アイ・エル・ディー・ケー)** : 東京都練馬区
NPO法人が運営する学びの場 (放課後や部活っぽいイメージ?)
- ② **知的障害者幡ヶ谷教室GAYA (ガヤ)** : 東京都渋谷区
渋谷区教育委員会が運営する青年学級 (土日の余暇活動のイメージ?)
- ③ **神戸大学・学ぶ楽しみ発見プログラム (KUPI)** : 兵庫県神戸市
大学が行う知的障害者を対象とした講座 (平日の授業っぽいイメージ?)
- ④ **パンジーメディア** : 大阪府東大阪市
障害者によるインターネット放送局

日	月	火	水	木	金	土	日
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							

授業 (赤枠)
放課後・部活 (黄枠)
余暇 (青枠)

いろんなタイプの
学びの場を見に行くのね☆



第3話 やりたいことをやる！学びの場 i-LDK



楽しみにしていた視察は、残念ながらオンラインになってしまったけれど、**i-LDK**の活動はおもしろかったね😊

地域で自分らしく生きるために、当事者が主体になっていろいろな学びの機会をつくっていく活動をしていたよね。
「やりたいことをやる！」ってすごくいいね。



雰囲気良くて、みんなとても**楽しそう**だったね。

時間になったら始まる、じゃなくて、
みんなの気持ちがそろったら始まる感じもよかったね！
ゆったりしてて、何でも気がねなく話せそうな環境だったな。



ライブ配信で参加した「**くらしのちぐはぐ研究室**」は、**障害年金**がテーマだったけど、**大事な話の時でも気軽にゆったり話していた**よね。そういう話し合いなら、私も参加したいと思いました！

自分がわからないことや、モヤっとしたことを、**みんなと共有**するのがいいな。勉強って一人で考えることが多いけど、みんなで考えることも必要だと思う。



私たちも、自分の好きなことや、話したいことを話す機会を作りたいね。仲間のことをよく知らないままじゃ、活動をすすめることはできないよ。



調査ファイルNo.1 i-LDK

特別支援学校卒業後の学びの場「MoreTimeねりま（自立訓練事業）」を活動拠点として、フリータイム、部活、地域活動・社会貢献の3つ柱のもと、様々な学びの機会を創っています。「くらしのちぐはぐ研究室」など独創的で、ユニークな活動と、どんな人も受け入れるおおらかさが魅力。

i-LDKは、Inclusive Learning Diversity with Kitchenの略。

活動時間 平日（月～金）16：00～19：00、土日祝日 12：00～19：00

所在地 東京都練馬区高松2-15-18

運営 NPO法人障がい児・者の学びを保障する会

くらしのちぐはく研究室

くらしの中の「あれ?」「なんで?」「変だぞ」と思うふしぎなことを、みんなで話しあいます。



申請の手続きがむずかしいって言ってたね。
たくさん書類が必要で、内容もむずかしいから
あきらめちゃう人もいるんだって。
本人ができないくらい、むずかしい仕組みってどうなの?



困ってるから申請したいのに...
障害が軽度の人だとももらえないデメリットもある



みんなで話していたら、おかしなところがたくさん出てきたね。
最後はなんでそうなのか、役所に聞きにいこうってことになったよね。

ちぐはぐを**解決することよりも、みんなで話し合うことが目的**ってところが印象的だったな。共有できるって大事☆



自分は、年金はこれからだけど、いろいろ手続きをするのにとっても大変だと感じたよ。今日話を聞いてもまだぜんぜんよくわからないな...。
でも、大切なことだからこれから頑張りたい!

アフタートーク

インタビューは緊張した!でも、障害者と健常者の違いを質問したら「違いを答えることはできない。**一人ひとり違うからみんなと活動するに意味があるし、それをどう伝えるかが大事。**」と聞いて、自分のモヤモヤがとれた感じがしたな。



今の社会がいかに**障害者、健常者と分けているか痛感**した。私も無意識にやってしまっていたかもしれないな...。一人の人間として受容することを考えていきたい。

★ i-LDKからまなんだこと★

解決よりもみんなで話し合うことが目的
楽しい雰囲気だと話しやすい。雑談や自由な会話が大事。
一人ひとり違うからみんなで活動することに意味がある

第4話 もっとなかよくなりたい！



i-LDKの視察をして、これからみんなで活動していくために
お互いのことをもっと知りたい！もっと、みんなと話したい！！
という声が出たね。

何かに対してみんなで一致団結して動く活動も大事だけど、
それ以前に、仲間がどんな人か知らないまま話を進めるの
はあまり適さないと思うな。



そうだね。コロナの影響でG A Y Aの視察が中止になったことも
あって、第4回はあらためて**自己紹介**の機会をつくったんだよね。

オンライン（Zoom）だったけど、**少人数で話しやすかった**な。



好きなことについてたくさん話しができたよ。コロナ禍でなかなか
話せない日が続いていたから、とってもうれしかった！

自分の好きなことや話したいことをしゃべる機会があるといいなと
思ったから、今回は**やっと話せてうれしかった**です。



好きなポケモンの話をしたら、同じように好きな人がいたり、
共有の話題で盛り上がれてうれしかったな。
お互いの第一印象やその時の想いを聞くこともできたし。

みんなのことを更に知ることができたし、
先生たちの**意外な一面も見れた**ね。

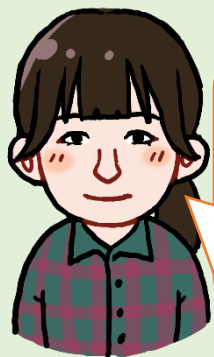


ワクチンの副反応で参加できなくて残念。
ゲームの腕前を披露したかった...

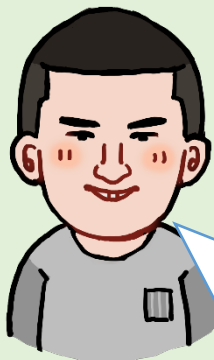
私も、参加できず残念...。特技の**アーチェリー**のことを
話したり、みんなの話を聞きたかったな...



しらなかったみんなの姿がみえてきた



音楽がだいすき。
ピアノとホルンを演奏している。
友達と会っておしゃべりしたり、旅行もすき！

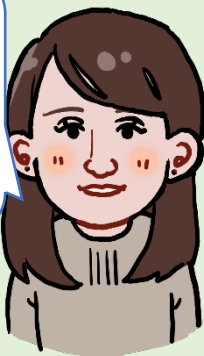


電車とラーメンとマンガとベイブレードが好き。
おいしいラーメン屋を教えてあげるよ。



女子大だから秘密にしてたけど、実はカードゲームが好きなの。
レアなカードを持っているのが自慢。

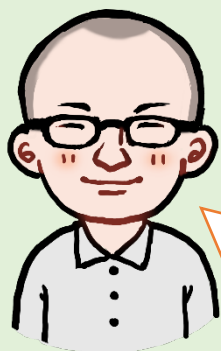
K-POPが中学生のころから好き。
TWICEやBTS、いろんなグループのペンライトをもっているよ。



特技はギター。
嘉門達夫師匠のライブに、2回出演して、セッションしたことがあるんだよ。
さがっばジョーも好き。



ゲームとランニングが趣味。
ゲームはポケモン、陸上は大迫傑選手のファン。
特技はブラインドタッチだよ。



崎陽軒のシウマイ弁当が大好き。
スパイスカレー作りにもはまっている。



桃屋の「きざみしょうが」がマイブーム。おいしいから、なんにでも入れちゃうよ。



ポーランド食器とミュージカルが好き。宝塚歌劇団が推し。

一緒に活動するためにも
まずはお互いを知ることが大事！

第5話 わかったことを伝えたい



早いもので、リサーチももう5回目。折り返し地点です。
今日は、これまでわかったことを**整理して、発表**してみましょう！

え?! 発表?? ちょっと緊張する～



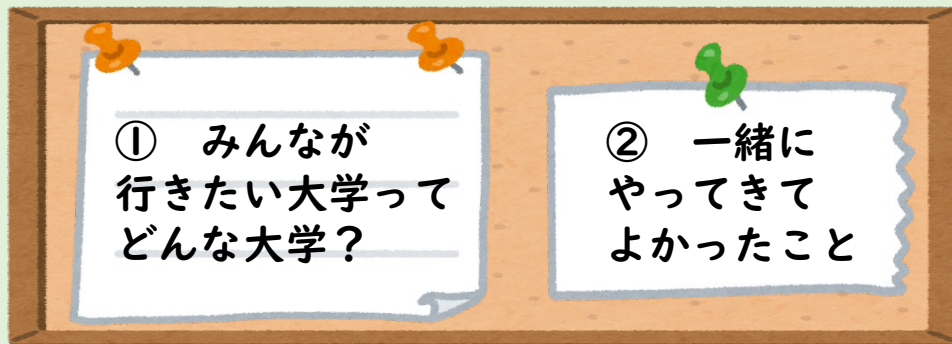
確かに緊張するね。でも、大丈夫!
みんなの気持ちをわかってもらうためにも、
みんなが考えたことを、**他の人にも伝えていこう**よ！

そうだね! 想いをつたえることって大事だよね。



じゃあ、みんな、始めるよ!

これから、この二つのことについて、考えてほしいんだ。



①は、これまでいろんな学びの場について学んできたけど、それを参考にして、**どんな大学が理想なのか考える**ってことね。



②は、学生や勤労青年、大学の先生や行政の人が、みんな一緒になって活動してよかったことを考えるんだね。
インクルーシブ・リサーチをやる意味が見つかりそうだね。

なるほど～。
さっそく、やってみよう!



中間まとめと発表

この分析の方法は、
KJ法とよばれているよ

1

インタビューをしあう



2

インタビューできいた
意見をふせんにかく



3

模造紙にはり、似たもの
同士をグループにまとめる



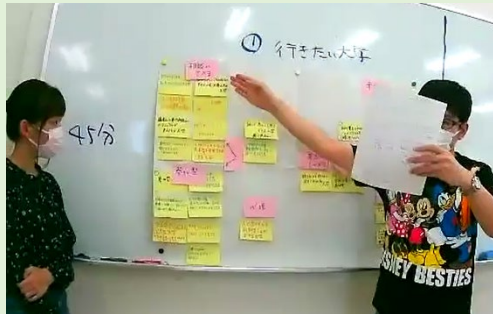
4

グループに表札をつけ
たり、関係性を考える



5

グループとしての意見
をまとめて発表



6

個人の意見も発表



① **みんなが行きたい大学**では、こんな意見がでたよ。

- ・ 障害に関係なく **誰でも学べる** 大学
- ・ **参加型**の大学
- ・ **相談**ができる大学
- ・ **将来**、役に立つ情報や学びがある大学

② **よかったこと**ではたくさんの意見がでたね。「**学び**」と「**関わり**」についての内容が多かったね。特に印象的だったのはこちらの二つ。

- ・ **【関わり】** これまで関わる機会がなかった人と関わる事ができた
- ・ **【学び】** **障害に関する固定概念がくずれた**



第6話 学ぶ楽しみが見つかる！神戸大学



11月には、コロナの感染者も減って、
2泊3日で神戸・大阪に視察に行くことができたね。



仕事で行けないメンバーもいたけど、とっても貴重な経験だったな。
神戸大学のみなさんにたっぷりお話をきかせてもらえて感謝です！



私たちの活動について伝える場面もあったし、授業に参加もさせてもらったね。みなさんと交流できたのが楽しかったな♪
いろいろな授業があったけど、**参加型で話し合いを中心**としていたね。



週3日も大学で学ぶ機会があるなんて、いいなあ。
大学の授業に出席して、大学生と一緒に学ぶ授業もあったね。



障害のある学生がわからないことや苦手なことがあったら、**メンター学生**（大学生）がお手伝いをしていたね。苦手なことがあったら、それを得意な人がやって、お互いに助け合うのはいいなと思った。



授業のすぐあとに、**振り返りの時間があった**ね。
その日のうちにみんなで共有できて、いいなと思ったよ。



神戸大学の活動を知ること、自分たちの活動との違いもわかったね。
あらためて、私たちの活動について考えることができたし、
私たちがどうしたいのか、これからも考え続けていきたいな。

調査ファイルNo.2 神戸大学・学ぶ楽しみ発見プログラム (KUPI)



平日の夜、神戸大学のキャンパスで知的障害のある青年が学ぶプログラム。
火曜日は、大学の授業に参加して、大学生とともに学びます。水曜日は、大学教員が特別授業を行います。私達が見学した時は作文の授業でした。金曜日は地域の施設を利用して、やってみたいことを話し合って計画を立てたり、実行する創作活動や研究をします。入学選考があり、受講料が50,000円かかりますが、学び終えた人には履修証明書が発行されます。

活動時間 10月～2月の火・水・金 16:30～20:00

所在地 兵庫県神戸市灘区鶴甲3-11

運営 神戸大学人間発達環境研究科

(画像：KUPI報告書より)

11月9日 (1日目)

9:10 新横浜駅集合



新幹線で神戸へ移動

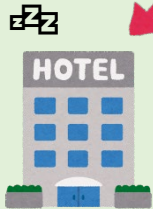


14:00 神戸大学に到着!



先生からオリエンテーション、
大学院の授業を体験

22:30 夕食 おつかれさま~!



21:00 終了

学内の夜景
スポットへ案内
してもらったよ



17:00 KUPIの授業に参加。授業後のふり返りも見学。



11月10日 (2日目)

13:00 神戸大学に集合!その後、先生へのインタビューや、
プログラムを支えるスタッフのお話をうかがう



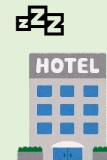
15:00 KUPI学生との交流会



17:00 KUPI授業の見学



20:30 夕食 & ふりかえり



★神戸大学・KUPIでまなんだこと★

大学の強み(人・場所など)を活かして授業をつくる
安心して参加できる体制をつくる
いろんな方法でみんなの意見を共有する

第7話 障害者の声を発信！パンジーメディア



視察3日目は大阪にあるパンジー・メディアに行ったね。
みんなは、どんな印象をもったかな？



とても和やかで、障害のある人もスタッフも横並びで「**ともに**」って感じがしたな。みんなで丸くなってご飯を食べたのが印象的。



本人がやりたいと言ったら**障害を理由に断らない**ところがよかったな。
やってみてダメだったら別の方法と、いろんな案を出して挑戦してた。



全盲の方が見事カメラマンになった話はおどろいたね。
障害のある人の可能性をのばしているところがいいな。



一人ひとりに役割があって、それが主体性と責任感を生み出していたね。



番組を見たけど、障害者が企画してドラマを撮影して、主演もしてたね。すごいな！**一人ひとりみんなが主役**だったよ。



演技もうまかったね。「障害者でも**やればできるんだな**」って勇気もらったよ。俺たちも何かに挑戦してみたいって思った！



そうだね！私たちの活動を社会に知ってもらえるものを作れたらいいな。



パンジーメディアのように、私たちも障害の理解を深められるような発信や活動ができるといいな🍀

調査ファイルNo.3 パンジー・メディア



知的障害をもつ人達のことをもっと知ってもらうために、①インターネット放送局、②映画、③本、の3つのプロジェクトを柱に、知的障害をもつ人が中心となってさまざまな情報を発信しています。映像制作のプロの助言を受けながら、番組制作にかかわるカメラマン、スイッチャー、キャスターなどはすべて障害当事者が担当。障害者本人の想いを大切にしながら、当事者の声を発信し続けています。

活動時間 編集会議（月1回）で番組の内容が決まり、番組にそって活動内容が決定。
所在地 大阪府東大阪市中新開2-10-16
運営 社会福祉法人 創思苑

インターネット番組「きぼうのつばさ」がうまれるところ



みなさんに、インタビューをしました。番組を始める前は意見を言わなかった人が、自分の意見をいうようになったり、いろいろな**変化があった**そうです。

やまゆり園事件の後、障害があっても生き生きと過ごしていることを伝えてくれて出演を決めたという方もいました。



自分を見る職員の目が変わったという意見もあったね。



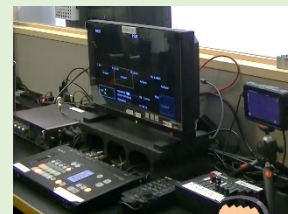
2階建ての建物の1階が、スタジオと編集室です。スタジオには大きなカメラが3台と照明、セットがあります。ニュースキャスターの気分を味わいました！



編集室には、カメラや照明を操作する機械と動画を編集するパソコンがあります。



2階はオシャレなキッチンスタジオ。ここで世界の料理づくりに挑戦しているそう☆



★パンジーからまなんだこと★

当事者主体の考え方とやり方
やりたいことに「できない」「No」と言わない
経験・体験は大切！経験があるから挑戦できる
発信すると自分も周りも変わる

旅の思い出

視察を通して
いろんな体験をして
メンバーとも
仲が深まりました！



番外編

第8話 ともに学ぶといいことあるよ



いよいよ、まとめの時期。今年のテーマは「**障害のある人が学びたくなる大学ってどんな大学？**」だったね。3か所の視察とミーティングを通して、みんなの理想の大学が見えてきたね。その条件を考えよう👉

中間まとめからさらに充実した内容になったね。みんなには当事者調査員をやってもらったけど、**一緒に活動してみてもよかったこと**はどんなことだった？



みんなが一番にあげたのは「**関わり**」がもてたこと。これまで障害のある人と関わる経験がなかったから、個性豊かな人たちと楽しく関わることがよかった！

同世代の大学生と、意見交換したり悩みを共有できたことがよかったよ



視察で勉強以外の体験も一緒にできたのが印象に残ってる。あれで親睦が深まったよ。

視察にいった人たちが仲良くなって、その上、成長しててビックリしたよ！



いろんな「**学びがあった**」こともよかったな。親睦が深まるにつれて発見や学びが増えていった感じ。

安心して素の自分が出せたから、本音の話し合いができたな。意見を発表する機会も沢山あって、だいぶきたえられたよ。



障害についての学びも大きかったね。障害って何だろうと考え直すことができた。



他にも視野が広がった、純粋に楽しいなどの「**メリット**」や「**もっと学びたい**」と感じたこと、「**これからしたいこと**」が**みつかった**といった意見もあったよ。

話し合いのようす



意見をふせんに書き出そう



障害のある人が学びたくなる大学は…「ともに学ぶ大学」

「ともに学ぶ大学」の条件

1. 学ぶ環境を作るための理念がある

- ・ 障害に関係なく、誰でも楽しめる大学は、**多様性を尊重**する
- ・ 当事者（学生、勤労青年）がやりたいことに「No」と言わず、時間がかかっても検討する**当事者主体**の姿勢がある。

2. コミュニケーションを大切にする

- ・ 学生同士、先生とも意見交換ができる
- ・ 日常の雑談、困りごととも共有できる

3. 相談ができる

- ・ 苦手なこと、分からないことはサポートが受けられる。
- ・ 気軽にすぐ、その場で相談できる。

4. 授業や運営に参加できる

- ・ 意見が言えて、みんなで議論ができる
- ・ 雑談と思える発言でもさえぎらない（意外な発想が生まれるかも！！）
- ・ 何事もとりあえず挑戦する

5. 学びの内容と活動方法が多様

- ・ 学びたいと思った時に学べる。
- ・ いろんな授業やコースがある。
- ・ 自分を表現・発言する力や学んだことを社会に**発信**する力が身につく
- ・ 参加の仕方を自分で選べる
- ・ 学んだ後の振り返りがその日にできる

6. 未来・将来につながる

- ・ 自分の夢をかなえることができる
- ・ 社会に役立つ学びができる

わたしたちの学びを

2月の成果報告会で発表しよう！



おわりに

◆物語はこれでおしまいです。現実のインクルーシブ・リサーチの活動はまだ続きます。大きく成長したメンバーとともに、次は新しいテーマで、新しいメンバーを迎えて、さらにパワーアップした活動を行う予定です。

◆この冊子を読んで「いいな」、「自分も活動したいな」と思った方は、ぜひ私たちの仲間に加わってください。活動のノウハウを教えてください。障害のある人がいつでもどこでも学びつづけられるよう、ともに学びの場を各地に広げていきましょう。

◆そして、学びの場を作りたいと考えている支援者の方に、まつきちと私はるぴんから、経験を通して得た『支援者のための3つのクレド（信条、行動指針）』を自戒の念を込めておくります。



★支援者のための3つのクレド（信条、行動指針）★

「支援者は、時間軸をゆっくりとる」

「支援者は、すぐに成果を出すことをもとめない」

「支援者は、本人（当事者）を置き去りにしない」

◆最後に、快く視察を受け入れて下さり私たちに元気と勇気をくれた視察先のみなさま、活動に助言と多大な協力を下さったレアキャラのみなさま、見守り支えてくれた相模原市と相模女子大学のみなさま、そして、ともに活動に取り組んでくれたメンバーのみなさま（メンバーの存在なくてこの活動は成立しませんでした！）、関わってくださったすべてのみなさまに心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

狩野 晴子（相模女子大学）



インクルーシブ・リサーチ メンバー

岩本 健吾（会社員）

井上 敏治（相模原市発達障害支援センター）

大木 知幹（会社員）

加藤 乃絵流（相模女子大学 3年生）

狩野 晴子（相模女子大学 人間心理学科）

小林 太郎（相模原市発達障害支援センター）

今藤 孝拓（会社員）

下斗米 若菜（相模女子大学 3年生）

菅谷 春佳（相模女子大学 3年生）

千早 佳音（相模女子大学 3年生）

松崎 吉之助（相模女子大学 社会マネジメント学科）

水野 克隆（団体職員）

インクルーシブ・リサーチ サガジヨ ver. 2021 —MISSON とともに学ぶ大学を探せ！—

2022年2月 発行

発行者 相模原市発達障害支援センター

〒252-0226 神奈川県相模原市中央区陽光台3-19-2

TEL：042-756-8411

相模女子大学

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1

TEL：042-742-1411（代表）

イラスト（表紙・メンバー） 榮 愛美

文章・編集 狩野 晴子

※この冊子は文部科学省委託事業「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業」（令和3年度）の成果報告の一部として作成しました。
詳しい情報をお知りになりたい方は、事業全体の報告書をご覧ください。

